



令和4年9月12日
(独)家畜改良センター奥羽牧場

放牧地管理現地研修会の開催について

家畜改良センター奥羽牧場（場長：西元 薫）では、放牧利用した畜産経営の改善のため、放牧地および採草地で利用可能な牧草の新品種の紹介と、放牧地の管理についての現地研修会を下記のとおり開催します。

参加及び取材をご希望の方は、別紙開催要領をご確認のうえ、問い合わせ先までご連絡ください。

記

- 開催日時 令和4年9月14日（水） 13:00～16:00
- 開催場所 杉沢ふるさと会館（青森県三戸郡三戸町貝守字杉沢向平 57-2）
三戸牧野 （〃 三戸町大字貝守字貝守深山）
- 内容
 - 現地研修会
三戸牧野概要、牧草追播、放牧地管理・電気牧柵について
 - 講演
嗜好性、越夏性に優れるペレニアルライグラス「夏ごしペレ」について
東北農業研究センター緩傾斜畑作研究領域生産力増強グループ 藤森雅博 上席研究員

青森県における簡易更新・追播の取り組みについて
青森県三八地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 伊藤一夫 主幹
- 共催 (独)家畜改良センター奥羽牧場、青森県三八地域県民局

*取材をご希望される方は、事前にご連絡下さい。

*新型コロナウイルス感染防止のため、国及び青森県の感染防止策に従い、体調不良の方の来場はご遠慮願います。取材は屋外で3密とならないよう対策しますが、マスク着用・手指の消毒にご協力下さい。

【問合せ先】〒039-2567 青森県上北郡七戸町鶴児平 1

独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場 担当者：業務課 なりた 成田、あつじ 阿閉

TEL：0176-62-3281 FAX：0176-62-3283

URL：<http://www.nlbc.go.jp/ouu/>

「日本の食卓 改良と技術で守ります」～小さなタネから大きなウシまで～

放牧地管理現地研修会 開催要領

独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場では、肉用牛の効率的な改良増殖、畜産新技術の開発・実用化等の業務に取り組んでおり、場内では繁殖牛を放牧し、季節繁殖を行っています。

放牧地については、国策として昭和の時代に大規模放牧地が造成されましたが、畜産農家の高齢化、飼養頭数の減少から、現在有効に活用されていない放牧地が多く見られるようになりました。しかし、最近の急激な資材の高騰及び地球温暖化防止の観点から、輸入飼料に依存せず、環境負荷を低減し、省力化も可能となる放牧の利用が注視されています。そこでこの度、放牧利用した畜産経営の改善のため、放牧地および採草地で利用可能な牧草の新品種の紹介と、放牧地の管理についての研修会を下記のとおり開催いたします。

記

1. 開催日時：令和4年 9月14日（水） 13:00～16:00
2. 開催場所：杉沢ふるさと会館（青森県三戸郡三戸町貝守字杉沢向平 57-2）
三戸牧野（〃 三戸町大字貝守字貝守深山）
3. スケジュール
 - 12:50～ 受付開始（杉沢ふるさと会館）
 - 13:00～ マイクロバスにて三戸牧野に移動
 - 13:30～14:30 現地研修
 - (1) 三戸牧野概要
 - (2) 牧草追播について
 - (3) 放牧地管理・電気牧柵について
 - 14:30～ マイクロバスにて杉沢ふるさと会館に移動
 - 15:00～16:00 講演
 - (1) 嗜好性、越夏性に優れるペレニアルライグラス「夏ごしペレ」について
東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域生産力増強グループ
藤森雅博 上席研究員
 - (2) 青森県における簡易更新・追播の取り組みについて
青森県三八地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 伊藤一夫 主幹
- 16:00 アンケート回収 終了
4. 共催（独）家畜改良センター奥羽牧場
青森県三八地域県民局
協賛 三戸町役場
協力 三戸牧野組合 サージミヤワキ株式会社
5. 参集範囲
生産者、牧野組合、試験研究機関、関係団体、飼料生産受託組織 等

6. 参加申し込み

9月7日（水）までに、別紙様式により E-mail 又は FAX でお申し込みください。
当日の天候等により、内容が変わる場合がありますのでご了承ください。

7. 家畜防疫上の注意点等

- ・ 海外から入国または帰国後 2 週間以内の方はご遠慮下さい。
- ・ 当日の来場前は、他の畜産施設等（自宅の畜産施設を含む）に立ち入らないでください。
- ・ 現地研修時は、奥羽牧場が準備するディスポつなぎ・靴カバーを着用いただきます。

8. 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・ 当日、発熱・体調不良の方は参加をご遠慮下さい。
- ・ 研修では、マスク着用と手指消毒にご協力ください。